

とうべつ

手にとって ^{ぐ〜っと}good 身近に

議会だより



No. 204

令和3年2月1日発行

CONTENTS

11月臨時会・12月定例会

発熱外来を設置、ふるさと納税は好調・・・・・・・・ p.2

総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会

6人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・ p.4

一般質問

質疑・討論・採決～活発な議論が・・・・・・・・ p.10

11月臨時会・12月定例会



PCR検査キットの一部（北海道医療大学提供）

11月16日に総務文教常任委員会及び産業厚生常任委員会、12月7日に総務文教常任委員会、12月8日に産業厚生常任委員会を開催し、11月臨時会と12月定例会に関わる議案や報告について質疑が行われました。

新型コロナ対応 発熱外来を設置へ

医療機関が発熱外来を開設するために必要な経費を支援する補正予算について、説明がありました。設置された発熱外来については、外来の混雑や感染拡大を防ぐため、場所や名称などの詳細は非公表となっています。

産業
厚生

発熱外来を設置へ

問

国から医療機関へ調査があったとのことだが、町内の何カ所の医療機関に調査があり、そのうち1つの医療機関だけが選ばれたのか。もしくは、1つの医療機関だけが申請したものか。

答

町内全ての医療機関に意向調査が行われている。どの医療機関も動線確保などが困難な状況の中、1医療機関のみが必要な対策をした上で、発熱者などへの対応が可能と回答している。

総務
文教

校務系ネットワーク

問

校務系ネットワークシステム構築業務について、何年かに一度更新するのか。また、このシステム導入により、学校の業務はどれだけ効率化されるか試算しているか。

答

平成26年度に4校の端末整備を行い、おおむね7年が経過したため、機器の更新も含めて今回構築する。導入によりセキュリティ面の強化や教職員間の連絡手段が向上すると考えている。

総務
文教

記念式典 令和3年5月へ

問

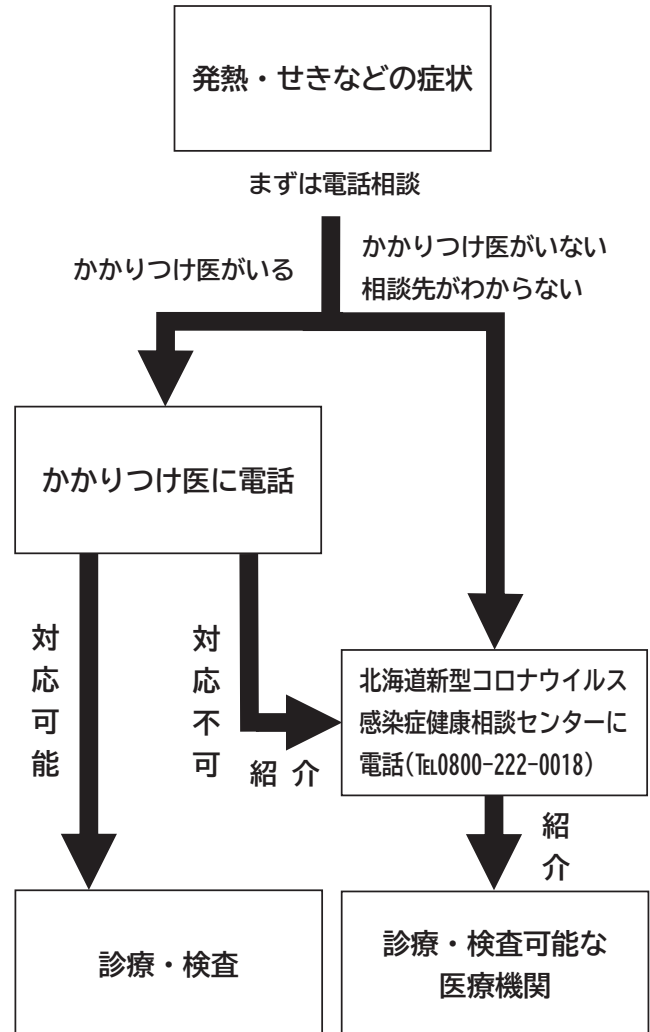
当別町150年記念式典は、当初、1年先の10月に延期すると記憶していたが、令和3年5月にした根拠は。

答

新型コロナの状況による再延期を考えた場合、

10月以降の再延期は考えられないので、まずは5月に様子を見て実施していきたい。もし5月に実施できない場合、それ以降に再々延期していくように考慮した。

当別町における診療・検査の流れ



※発熱外来の指定を受けた町内医療機関について、令和2年12月末日現在、46名が受診しており、36名がPCR検査を受けている状況。

産業
厚生

工事後の道路沈下は

問

北栄町地区水道管布設替工事に関して、道路を掘り起こして埋め戻した後、そこが沈むケースがよくあるが、その場合の工事費は入札した金額の中に含まれているのか。

答

春に再確認して水溜りなどができているようであれば、業者による手直しで対応していただく。入札金額の中でやっていただくことと考えている。

コロナで税収減も ふるさと納税は好調

総務
文教

法人税 1 億円の減額

問

町税の補正予算について、法人税がコロナの影響もあって約 1 億円減額となっているが、これが当面予想される減額の幅であるのか。これから増えていく可能性はあるのか。

答

確定申告があった部分で、当初の見込みから大幅に下回った状況。大きな部分は想定しているが、今年度分の確定申告はまだこれからもあるため、今後も法人税への影響は見込まれる。

総務
文教

ふるさと納税 前年比1.5倍

問

補正予算の歳入について、まちづくり基金寄附金（ふるさと納税）が 6 億 4,000 万円の増となっている。ふるさと納税は例年 12 月に多く来るが、これは今のところの見込みの数字か。

答

例年 12 月に約半分の寄附が見込まれるが、11 月時点の数字を見ると、対前年で 1.5 倍ほど既に申し込みがあり、このまま行くと総額 19 億 4,000 万円に増える見込みである。

インフルエンザ予防接種

産業
厚生

接種期間は 1 月まで

問

インフルエンザ予防接種について、10～12 月までの期間を翌年 1 月まで延ばすとのことだが、当初何件くらい接種する予定だったのか。期間を延ばすことでワクチンの供給は増えるのか。

答

高齢者約 5,400 人のうち接種率は例年約 42% である。今年度は需要が増加する予測のもと、国ではワクチンを増量し、段階的に供給することとなっている。

産業
厚生

希望者全員に接種を

問

インフルエンザ予防接種を受けたいけど受けられないとの話も聞こえてくる。接種希望者が増えたと聞いて即供給することは無理だと思いが、希望者が接種できるように検討は可能か。

答

ワクチンについて、国からは追加供給する予定であると通知が来ているところ。今後、追加で入ってくることを見据え、希望者が接種できるように 1 月末まで期間を延ばして対応する考えである。

産業
厚生

窓口タブレット配置

問

コロナ禍において、ろうあ^{※1}者との意思疎通のため、タブレットを導入するのは、良い事業だと思う。タブレットを対象者の自宅に持っていき使用することは検討されているか。

答

タブレット 2 台を Wi-Fi 環境が整っている役場とゆとりに配置する計画。タブレットは持ち運び可能であるので、例えばポケット Wi-Fi^{※2} による利用などを現在研究している。



タブレット配置予定の障がい支援係(ゆとろ)

【その他の主な質問項目】

国民健康保険の新型コロナウイルス感染症への対応（産業）、人工透析の状況（産業）、町道道路照明施設更新工事の進捗状況（産業）、固定資産税の減免（総務） など

※1 ろうあ…聴覚障がいのある1つの区分。「ろう」は耳が聞こえないこと、「あ」は言葉が話せないこと。

※2 ポケット Wi-Fi…持ち運び可能な Wi-Fi 機器のこと。Wi-Fi はインターネットに無線でつながられる技術や機器のこと。



一般質問

佐々木 常子 議員

質問の
ねらい

希望あふれる当別町に！！

若い世代のがん罹患率が増加している。早期発見、または予防が大事である。年を重ねた世代より、若い世代の方は、あまりがんを意識していない方が多いように感じる。自ら命を守っていくためにも、情報を開

示していく事、予防の手立てを知らせていく事が大切である。行政にICT※¹化など町民の利便性の向上のため国のオンラインサービスや支援事業など、現在使える国の事業に町として取り組むべきである。

ここを聞きたい 子宮頸がんの情報を

問 日本では年間1万人が罹患し約2,800人が死亡。世界ではHPV※²ワクチンと検診により、今世紀中の排除が可能とのこと。対象の女兒にメリット・デメリットを明示すべきでは。

答 令和2年10月に、国から予防ワクチンの効果やリスクに関する通知が来ているので、町ホームページへの掲載やリーフレットの個別送付により情報提供を図っていく。



子宮頸がんに関するリーフレット (厚生労働省)



マイナポータルに関するリーフレット (内閣府)

ここを聞きたい 魅力ある当別町に

問 行政手続きのオンラインサービスについて、より選択肢を用意すべきでは。町の保健師が妊産婦へ個別に声をかけている話も聞く。オンラインの利便性と人との触れ合い、両方あれば最高では。

答 選択肢を増やすことは大変重要と考えている。無機質な社会にならないように、オンラインの利便性と、人との触れ合い、温かみとのバランスが取れた社会を構築すべきと考えている。

ここを聞きたい 乳がんグローブの配布を

問 若い世代のがん罹患率が増加。早期に発見できれば治療の選択も広がる。若い世代の方に、自分の命を守る自己検診のきっかけとしてもらうため、成人式で乳がんグローブを配布しては。

答 町の取り組みとしては考えていない。早期発見の有効な方法としては、検診を受けることが推奨されている。自己触診の啓発を行い、がん検診の受診勧奨を引き続き実施していく。

ここを聞きたい 若い世代に支援を

問 政府の「結婚新生活支援事業」が来年度拡充される。人口減少を心配して、当別も結婚祝金を用意してはという意見があるが、町として新生活を応援するために、この事業に取り組むべきでは。

答 現時点では大きな効果が期待できない。人口増の最大の課題は住環境の整備。これにめどが立った段階で、このような事業を人口増対策の一つとして打ち出すほうがより効果的と考える。

※1 ICT…Information and Communication Technology の略。メールやSNSなど通信技術を活用した産業やサービス等の総称。

※2 HPV…ヒトパピローマウイルスの略。子宮頸がんの原因とされるウイルス。

一般質問

西村 良伸 議員



質問の
ねらい

コロナ感染者対策をしっかりと

新型コロナウイルス感染者が急激に増加しており、これ以上の拡大を防止するため、①町内の状況や影響を正しく把握し、②これまで予算化したコロナ対策のための事業効果や成果を確認するとともに、③今後の対策につ

いて、聞いた。また、宮司町政2期目最後となる来年度の予算について、④どのような方針や重点を決めて予算策定を進めているのか、小中一貫校や新駅整備事業などの⑤財源の確保のめどについて、伺った。

ここを
聞きたい

町長緊急メッセージ発信

問 新型コロナウイルス感染症によるこれまでの町内の経済的影響等の状況はどの程度なのか。

答 町内の経済状況については、特に飲食、観光、製造、小売業の経営に影響が大きく、対前年同月の売り上げが50%以上減少した事業者が全体の約1割、約40社程度と認識している。



児童生徒が使用するノートパソコン

ここを
聞きたい

来年度の予算編成の検討は

問 令和3年度の予算は、課題が山積している中、どのような編成方針や重点施策を定めて、各部・委員会・局に予算策定の指示をしているのか。

答 編成方針として、まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進プロジェクトを重点的に進めることとしている。10月にプロジェクト評価を実施し、担当部局の現状把握や今後の方向性を整理した。

ここを
聞きたい

28億円の感染対策予算は

問 これまで、コロナ対策のため計上してきた個別事業の執行状況とその効果や成果についてどのように判断しているのか。

答 約28億円のうち、既に約20億円が執行され、事業は一定の成果があったと認識している。加えて事業者や町民の協力もあり、町内でクラスターが発生していないことも成果の現れである。

ここを
聞きたい

感染者発生警戒ステージ3

問 町内からの感染者発生や警戒ステージ3に至って、今後どのように歳入を確保しつつ、今後も継続する事業や新たに実施する対策を想定しているのか。

答 もちろん想定している。今後の感染状況次第であるが、再び緊急事態宣言が発令されて休業要請を行う場合などには、協力金、支援金などを支出するといった対策も想定しているところ。

ここを
聞きたい

選択と集中、財源の確保

問 コロナ感染症の影響により、来年度の歳入減少が予想されているが、重点施策予算化のための多額な財源の確保をどのように検討しているのか。

答 一体型義務教育学校建設やJR新駅などの大型事業は、スケジュールどおり実施すべきと考えている。その他の事業は、十分精査し、選択と集中をさらに強化していく。



一般質問

山田 明 議員

質問の
ねらい

福祉が当別町の文化であるために！

介護保険制度を取り巻く背景として、2025年問題がある。介護人材の確保が困難となり、介護保険制度の維持が困難となると言われている。当別町の高齢者が、可能な限り住み慣れた地域で、自立した日常生活

を営むことができるよう、医療、介護、予防、生活支援を一体的に提供するための「地域包括ケアシステム」を町として、第8期の計画策定に向けて、どのように構築し、どのように取り組むのか。

ここを
聞きたい

第7期計画の総括、検証は

問 第7期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の各施策の総括及び検証、また地域の課題の洗い出し、見直しを含めた検討はどのように行われたのか。

答 計画推進委員会における進捗管理や医療大学看護福祉学部と協働での分析、地域ケア会議での課題の協議、関係機関ヒアリング調査など、様々な調査や協議を通じて総括と検証を行っている。



第7期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画



総合保健福祉センターゆとろ

ここを
聞きたい

第8期計画策定の課題は

問 第8期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向けての課題はどのようなことがあるか。そして、その課題の解決に向けてどのように取り組むのか。

答 団塊世代が後期高齢者となり高齢化が進むことや介護人材の不足が想定され、その課題の解決には、地域包括ケアシステムの再構築が必要。これを踏まえたサービス基盤の方向性を定めていく。

ここを
聞きたい

成年後見支援センター設置

問 成年後見制度※1の認知度が低く、必要な人が制度の利用に至っていない。町民への認知度を上げるとともに、成年後見支援センターの設置を行い、相談支援体制を早急に整備すべきでは。

答 令和3年度の設置に向けて準備している。新篠津村から共同設置の要請があり、広域での設置に向けて協議している。早急に設置し、成年後見制度の正しい理解と普及啓発を進めていきたい。



成年後見制度リーフレット（裁判所）

※1 成年後見制度…認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない方の権利や財産を保護するための制度。

一般質問

鈴木 岩夫 議員



質問の
ねらい

年越し給付金の創設・給付を

ものすごい勢いで感染が拡大している。本町も例外ではなくなってきた。いかにして感染拡大を防ぐか。コロナ禍での町民の生活をいかにして守るかが私たちに突き付けられている課題。本町は発熱外来を開設し、

感染拡大を防ぐ施策を積極的に進めてきているが、さらに前へ進めるため、安心のためのPCR検査※¹の社会検査について質した。また、誰もが安心して年を越せるための年越し給付金の創設・給付について質した。

ここを
聞きたい

社会的検査の実施は

問

9月議会で、医療大との連携事業は安心のための社会的検査※²と答弁されたが、PCR検査の実施はしないのか。

答

社会的検査としてのPCR検査の取り組みは、

ソフトバンクと医療大が協定を結び、具体的な協議が進んでおり、町としては、町民の安心・安全につながるので、医療大を通じて、実施主体のソフトバンクとの具体的な協議を今まさにスタートしたところである。

ここを
聞きたい

医療・介護施設へ支援を

問

町民の命と健康を守るためには、町内における医療・介護崩壊を経営面からも絶対に防がなくてはならない。医療・介護施設への経営支援を拡充すべきでは。

答

9月にも答弁した通り、医療機関及び介護施設における感染予防策については、最重要の位置づけとしているので、状況把握を行い、必要な支援を検討していく。

ここを
聞きたい

年越し給付金の給付を

問

緊急小口資金の貸し付けが増加、2度目の申請も出てきている。持続化給付金に続く第2弾の助成が必要との声もある。生活困窮者・中小事業者などに「年越し給付金」を給付すべきでは。

答

国が実施するなら良いが、コロナの追加対策などを考えると、町は独自財源で行える財政状況にはない。緊急小口資金などの支援制度を活用して皆さんに良い年越しをしてもらいたい。

ここを
聞きたい

戸別所得補償の復活を

問

米の生産調整について「北海道は政府の目安を守ってきたがもう限界で政府が責任を持つべきだ。持続可能な政策を求めたい」という声がある。戸別所得補償の復活を国に求めるべきでは。

答

主食用米の需要は今後も減少していく厳しい見通し。国の動きを注視し、必要な対策は町内農業団体と連携し、国への要望は、道や各団体などと足並みをそろえて対応を検討していく。



伊達山遺跡調査報告書（1970年3月）

ここを
聞きたい

町の文化財に指定を

問

伊達山遺跡の調査報告書発行から50年。この間、図書室での資料展示、民間有志による現地の整備・活用が試みられている。150年とあわせて、今後町の文化財に指定するなどの考えは。

答

当別町文化財調査審議会では、多くの意見が出されているが、現時点では結論が出ていない。教育委員会としては、今後の議論を受けながら、来年度中をめどとして方向性を示していきたい。

※1 PCR検査…通常の状態では検出できないウイルスの遺伝子を増やして、そのウイルスの遺伝子の有無を調べる検査方法。

※2 社会的検査…ウイルスの感染防止対策と社会経済活動を両立させるために実施する検査。



一般質問

五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

誰一人孤立させない支援体制を！

高齢化社会が進む中で、多くのケアラー（介護者等）※¹が介護をすることへの不安を感じている。ストレスが蓄積され、心身のバランスを崩してしまう恐れもあるため、そのようなケアラーを早期に発見し、必

要な支援につなげることが大切で、支援の新たな拡充が必要では。また、高齢者福祉計画策定の際のアンケートでは、地域活動への参加希望者が回答者の50%を占めており、地域での活躍の場を広めるべきと考える。

ここを
聞きたい

ケアラー支援の取り組みは

問

高齢化社会が進む中、介護や看病、療育が必要な家族や近親者を無償でサポートするケアラーが、今後さらに増えていくことが予想される。ケアラー支援についてどのように考えているか。

答

ケアラーの相談は地域包括支援センターが担い、カフェの開設や認知症サポーターの養成などを行っている。悩みを抱えた方々のニーズを十分に見極めてこのような事業を実施していく。



ケアラー手帳（一般社団法人日本ケアラー連盟）

ここを
聞きたい

ケアラー手帳で周知啓発を

問

ケアラー手帳とは、ケアラーとサービスやサポートをつなぎ、社会的孤立を防ぐ目的で開発されたもの。当別町も参考にし、ケアラーに寄り添ったものを作成すべきでは。

答

町では、認知症ガイドブックを地域包括支援センターで配布。多くの方に活用していただき好評を得ていると認識している。今後、掲載内容の充実を図り、利便性が向上するよう検討を加える。

ここを
聞きたい

ボランティアのマッチング

問

町では、地域活動の機会の提供により、外出機会が増大、介護予防にもつながると分析していた。今後活動の場をどのように広げ、支え合うまちづくりのためにマッチングしていくのか。

答

必要とする方に適切なボランティアを派遣するため、ボランティアコーディネーターと連携・調整をしているが、ボランティアの性格上、マッチングにはおのずと限界があると感じている。

ここを
聞きたい

活動の場を広げては

問

有償ボランティア養成講座の推進とともに、介護施設等とも連携して、介護職でなくてもできる業務の補助などで、ボランティア活躍の場を広げる考えはあるか。

答

専門性がなくても、元気なお年寄りがボランティア活動の世界に入りやすいよう講座を実施している。高齢者のボランティア活動は生きがいや介護予防になるので、機会を増やしていきたい。



当別町共生型ボランティア養成講座のチラシ

※1 ケアラー…無償の介護者のこと。家族だけでなく、親族や友人、婚姻関係にないパートナーを介護する者も含める。

一般質問

山崎 公司 議員



次のページは

議案の審議結果 定例会では、質疑や討論と採決が行われました。

質問の
ねらい

町民生活を守る新年度予算編成を

新年度予算編成の重点項目について、新型コロナによる影響を踏まえ新たな社会づくりを先導する取り組みの検討を具体的にSDGs※¹の実現に向け努力すること、出生数の減少対策、札幌と比べてかなり高い水

道料金の見直し、公共施設使用料の見直し、また、コロナ感染症対策として、総合相談窓口に個人・事業者との新たな相談の動きについて、さらに当別町150年記念式典事業の今後の方針等について質した。

ここを
聞きたい

予算編成の基本方針

問 新型コロナにより、企業収益や個人消費が落ち込んでいるが、町税や交付税など歳入への影響をどのように想定しているか。また、新年度の予算規模や基本方針はどのようなものか。

答 事業者収益の減少や地方交付税などの大幅な減少が見込まれる厳しい状況。規模は令和2年度と同程度の見込みで、まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進プロジェクトを重点的に進める方針。



出生数増に向けて他市町村と差別化を

ここを
聞きたい

公共施設の使用料の改善を

問 公共施設利用者の2割が町外者。両コミセンは子どもは有料だが、町外の65歳以上は無料。テニスコートは町外者も無料。子どもの無料化や町外者の有料化など使用料の見直しが急務では。

答 町では人を呼び込む施策を推進しており、水を差さない意味でも、町外者の使用料の見直しは、直ちにとは考えていない。町内の児童生徒については、準備が整い次第無料としていきたい。

ここを
聞きたい

出生数の減少対策

問 出生数の減少は当別の発展に大きく影響する。令和元年度の出生数は39名でKPI※²は86名。他の町村との差別化のため、第2子、第3子への手当てや親子2世帯住宅建設の補助が重要では。

答 まずは住宅開発など子育て世帯を呼べる環境準備が重要。一定の環境が整った時に子育て施策を充実させることが最も効果的。住みたいと思える魅力的な住環境により差別化を図ることが重要。

ここを
聞きたい

水道料金の見直しを

問 町民から、札幌に比べて水道料金、下水道使用料がかなり高いとの声が多く寄せられ、特に子育て世代にかなり影響が出ていると認識。今後の水道料金の価格見直しをどのように考えているか。

答 各自治体は人口減少や施設の老朽化に伴い、値上げしている。町は料金高騰を抑えるため一般会計から毎年約6億円繰り入れており、値下げのためにこれ以上の繰り入れをするのは財政上困難。

ここを
聞きたい

町内コロナ感染者の実態

問 感染者は複数名と公表されているが、石狩振興局はかなりの感染者が管内にいと発表。町内の現状は。死亡者はいるか。

答 行政報告で公表者の5倍ほどの感染者が確認されていると伝えたが、現在もその状況は変わっていない。死亡者はいる。

【その他の主な質問項目】

テレワーク、移住促進への空き家の有効活用 など

※1 SDGs…Sustainable Development Goalsの略。持続可能な世界を実現するための開発目標。

※2 KPI…重要業績評価指標。当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標達成度を計るための数値指標のこと。

令和2年第3回臨時会

日程：11月17日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果
掲載ページ

傍聴人数 3人 議会中継視聴回数 41回 (1/20 現在)

【補正予算】

令和2年度一般会計補正予算(第6号)
266万円を増額し、総額を151億7,557万円とするもの

◎ p.2
~
p.3
p.10

令和2年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)
5万円を減額し、総額を8億9,028万円とするもの

◎ p.10

令和2年度水道事業会計補正予算(第1号)
収益的支出で5万円、資本的支出で7万円、手当等を減額するもの

◎ p.10

【条例】

当別町職員の給与に関する条例の一部改正
職員の給与の改定等を行うための条例の一部改正

◎ p.10

【契約】

校務系ネットワークシステム構築業務委託請負契約について
議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの

◎ p.2

令和2年第4回定例会

日程：12月4日～12月11日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果
掲載ページ

傍聴人数 4人 議会中継視聴回数 237回 (1/20 現在)

【行政報告】 ※行政報告のため、質疑や採決は行われません。

当別町150周年記念式典等の開催について

— —

当別町における新型コロナウイルス感染症への対応等について

— p.11

【議員提案】

不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

◎ —

【補正予算】

令和2年度一般会計補正予算(第7号)
11億3,461万円を増額し、総額を163億1,018万円とするもの

◎ p.2
~
p.3

令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
7万円を減額し、総額を22億1,644万円とするもの

◎ —

令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
1,389万円を増額し、総額を2億7,040万円とするもの

◎ —

令和2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)
656万円を増額し、総額を16億2,034万円とするもの

◎ p.11

【条例】

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定
地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部改正

◎ —

【人事案件】

固定資産評価審査委員会委員の選任について
梅枝正春氏の任期満了に伴い、新たに吉原洋氏を選任するもの

◎ —

人権擁護委員の候補者の推薦について
堀内教子氏の任期満了に伴い、同氏を再推薦するもの

◎ —



《第3回臨時会》

一括提案の議題

※人事院勧告にならない、町職員の期末手当を削減するもの

- ・一般会計補正予算(第6号)
- ・下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- ・水道事業会計補正予算(第1号)
- ・当別町職員の給与に関する条例の一部改正

職員手当の引き下げは
地方景気も下げるのでは



コロナ対応に追われる保健福祉課

Q 新型コロナウイルス感染症対策について、町職員はこれまでも頑張ってきたが、これからも頑張っていかなければならない。そのような時に、期末手当を引き下げるのは、頑張るというマインドも下げることにつながるのではないかと。また、町職員の賃金は地域の賃金にもつながっていく側面がある。そういう意味では、町職員の期末手当引き下げは、地方の景気を下げってしまうように働くのではないかと。

A 現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、社会全体の景気は悪化しており、民間企業は大変厳しい状況であると認識している。人事院は、民間企業と公務員の給与格差について、今回公務員が民間企業を上回ることから、ボーナス0.05カ月分を引き下げて均衡を図るといった勧告を出しているところであり、町としても、国に準拠した形で職員の期末手当を0.05カ月分引き下げることにした。

① 討論

《第4回定例会》

消費税率5%への引き下げを求める
意見書の採択を求める請願書

採択すべき 鈴木議員



富裕層へ応分の負担を
富裕層の負担で財源確保は可能。不要不急な公共事業などの予算をコロナ対策に使うべき。

不採択すべき 佐々木議員



社会保障に支障をきたす
5%では社会保障を支えられない。今後の経済復旧などを考えると、不採択が妥当。

採択すべき 澁谷議員



税金は能力に応じて負担を
税金は能力に応じ負担するのが原則。消費税は皆同じ負担。引き下げるべき。

不採択すべき 高谷議員



今は安定した財源の確保を
コロナが収束するまでは、財源の安定が政府にとって急務。今は引き下げるべきではない。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	高谷	島田	岡野
○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

【請願・陳情】

《令和2年第1回定例会(3月)総務文教常任委員会へ付託》 消費税率5%への引き下げを求める意見書の採択を求める請願書 [提出者]新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 [紹介者]当別町議会 議員 澁谷 俊和、議員 鈴木 岩夫	不採択	p.11 討論①
《令和2年第3回定例会(9月)産業厚生常任委員会へ付託》 種苗法の「改定」案の廃案を求める意見書の採択を求める請願書 [提出者]当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体 [紹介者]当別町議会 議員 鈴木 岩夫	不採択	p.11 討論②
《令和2年第4回定例会(12月)総務文教常任委員会へ付託》 核兵器禁止条約の批准を求める意見書の採択を求める請願書 [提出者]新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 [紹介者]当別町議会 議員 澁谷 俊和、議員 鈴木 岩夫	継続	—
《令和2年第4回定例会(12月)産業厚生常任委員会へ付託》 米の需給や価格の安定に政府が責任を持ち戸別所得補償の復活をはじめ、農産物の生産費に見合った価格保障を実現することの意見書の採択を求める請願書 [提出者]当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体 [紹介者]当別町議会 議員 鈴木 岩夫	継続	—

トピックス

《第4回定例会》

新型コロナの影響把握を

【補正予算】 令和2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)



保険給付費について、高額な増額や減額がされているが、コロナの影響は含まれているか。町内各施設は、緊急事態宣言の影響などで利用が減っているはずであるが、福祉部局で各事業所の減収分は押さえているか。各施設への影響は、町として援助などをする際のベースの資料になる。こういう機会にしっかりと調べておいてほしい。



特に通所サービスなどは、営業していない期間があり、影響はこの中に含まれている。また、各事業所からは、新型コロナの影響分として報告は上がっていないが、関係する介護保険給付費の請求の中で影響が出ている。

② 討論

《第4回定例会》

種苗法の「改定」案の廃案を求める
意見書の採択を求める請願書

採択すべき 鈴木議員



企業による種苗の支配になる
企業が種苗価格を上げることに對する歯止め規定がない。当別の農業の将来に影響する。

不採択すべき 稲村議員



不正流出の抑止力になる
種苗の不正流出は違法行為。法改正で抑止力が高まる。自家増殖はごく僅かで影響は少ない。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	高谷	島田	岡野
○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

トピックス

《第4回定例会》

町民の皆様へ改めて強くお願い

【行政報告】 当別町における新型コロナウイルス感染症への対応等について

- (1) 札幌市への不要不急の往来を控える
- (2) 町内においても不要不急の会合やサークル活動を自粛する
- (3) マスク着用(食事中もできるだけ)、手洗い、手指消毒、うがい、室内換気を徹底する

第4回定例会の行政報告において、宮司町長から「町では6名の感染者を公表しているが、非公表者を含めると公表者の5倍ほどの感染者が確認されている。主な要因は、札幌でのイベントや会食に参加した方が感染し、町内にウイルスが持ち込まれ、家庭内で感染拡大しているケースが多く見られる。これ以上、感染拡大させないためにも、町民の皆様へ3点(上記)について改めて強くお願いする」と令和2年12月1日付けの町長メッセージについて報告がありました。

議会のうごき（令和2年11月～令和3年1月）

11月 5日	議会運営委員会	9日	第4回定例会 総務文教常任委員会
16日	総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会	10日	第4回定例会
17日	議会運営委員会 議員協議会 第3回臨時会	11日	議会運営委員会 議員協議会
19日	会派代表者会議		第4回定例会 議員協議会
27日	議会運営委員会		議会広報特別委員会
30日	産業厚生常任委員会	23日	議会広報特別委員会
12月 1日	会派代表者会議	1月 6日	議会広報特別委員会
4日	議会運営委員会 議員協議会 第4回定例会	13日	議会広報特別委員会
7日	総務文教常任委員会	18日	産業厚生常任委員会
8日	産業厚生常任委員会		

令和3年3月定例会のご案内

予定 3月2日(火)～3月16日(火)
内容 新年度予算審査、一般質問など
傍聴 本会議や委員会も傍聴できます。

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

議場での傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場の傍聴を制限しています。ご協力をお願いします。また、インターネット中継も行っているため、インターネット環境のある方は、可能な限りそちらをご利用ください。



傍聴席を10席に制限

編集後記

年が明けても新型コロナウイルス感染症の拡大が止まりません。町内にもその影響が一気に迫ってきているように見えます。また、来年度の予算策定は大詰め時期となり、議会にもそのことが反映され、活発な議論となりました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、町民の生活が一気に大きく変わった一年となりました。一日も早く収束し、いつもの生活に戻ることを願うばかりです。今後も、議会で議論されている内容を分かりやすく伝えるため、研鑽してまいります。

議会広報特別委員会 副委員長 鈴木 岩夫

ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9
TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長	秋 場 信 一
副委員長	鈴 木 岩 夫
委 員	西 村 良 伸
委 員	佐々木 常 子
委 員	櫻 井 紀 栄